

## アスパラガス (ユリ科)

多収するためには、まず株を太らせるのがコツ。深耕と良質の有機物の施用で株に勢いをつける。

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地 春どり 栽培	1年目				播種 ○		△			定植 ⊙			
	2年目												×
	3年目以降					収穫						刈り取り	×

### 1) 適地

永年作物なので一度植えつけると 10 年以上栽培が続きます。耕土が深く排水のよいところを選びます。

### 2) 品種

メリーワシントン、ウェルカム、スーパーウェルカム

### 3) 作り方

【播種】播種は4月上旬が適期です。128 穴のセルトレイに市販の播種培土を充填して種を播きます。播種後は覆土し、発芽まで乾燥しないように管理します。なお、種子は硬実であるため、2～3日間水に浸してから播くとよく発芽します。

【セルトレイ育苗】育苗中はトレイ表面の培土が乾いたら灌水します。1 週間に 1 回程度、市販の液肥を 300 倍に希釈して施用します。

【鉢上げ】セルトレイで育苗した苗を直接本圃に定植してもよいのですが、小さいうちは雑草に負けやすいため、原則として 10.5cm ポットへ鉢上げして二次育苗します。鉢上げは、2 本目の茎が出て、固くなってきた頃を目安にします。鉢上げ後は、1 か月に 1 回程度、IB 化成など市販の緩効性肥料を置き肥します。

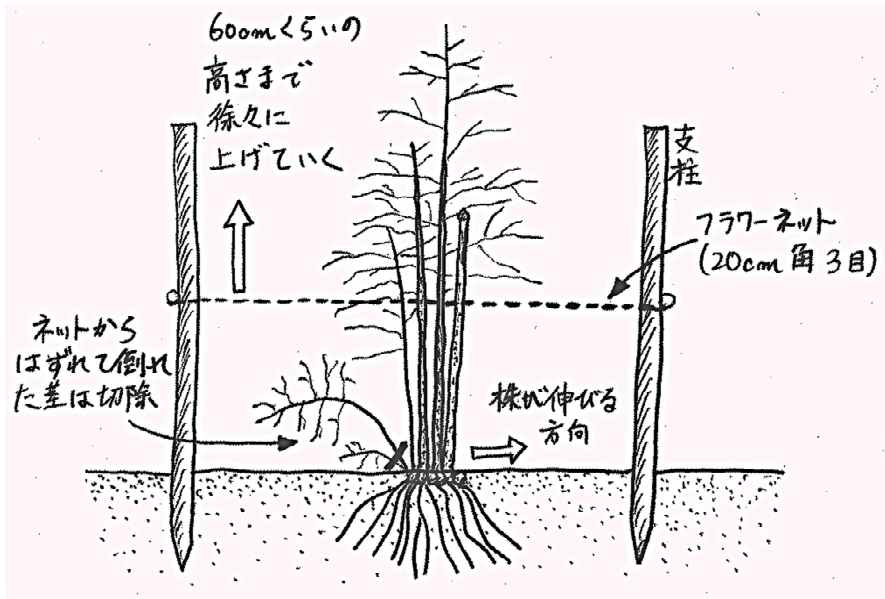
【圃場の準備】定植の 1 か月前に、1 m<sup>2</sup> 当たり苦土石灰 200 g、堆肥 3kg を施用し、できるだけ深く掘り起こしておきます。定植の 1 週間前に緩効性肥料 100 g を施用し、幅 120cm の畝を立てます。1 年目は雑草に負けやすいため、マルチを張っておくとよいでしょう。

【定植】株間 50cm で 1 条植えとします。苗は太い根が出ているものを選び、根はできるだけ広げて定植します。定植後は十分に灌水し、乾燥防止のために切りワラやモミガラを株元に敷いておきます。

【2年目の管理】定植後、地上部が完全に枯死する年末に株元から刈り取って処分します。冬季には、1 m<sup>2</sup> 当たり堆肥 2kg を施用しておくとういでしょう。萌芽前には畝



の両脇に支柱を150cm 間隔で立て、20cm 角で3目のフラワーネットを高さ30cm くらいの位置に張ります。フラワーネットは生育に従って高さ60cm くらいの位置まで順次あげていきます。その際、ネットから外れて倒れてしまった短い茎を切り取って、株元の風通しをよくしま



しょう。枝が大きく茂ってきたら、さらに地上 1m くらいの位置に紐を張って倒れないようにしましょう。2 年目は株を太らせるため、収穫せずに株づくりをします。追肥は、萌芽開始時に 1m<sup>2</sup> 当たり高度化成肥料 30g を、6 月と 9 月に緩効性肥料 50g をそれぞれ畝肩に施して軽く中耕します。

【3 年目以降の管理】3 年目以降は、収穫終了時と 9 月下旬の年 2 回それぞれ緩効性肥料を 1m<sup>2</sup> 当たり 100g ずつ畝肩に施用します。2 年目と同様、フラワーネットなどを利用して茎が倒伏しないようにし、繁茂すれば細い茎を間引いて風通しをよくします。冬に地上部を刈り取った後は、土づくりを兼ね 1m<sup>2</sup> 当たり堆肥 2kg、苦土石灰 50g、ようりん 10g を施用します。

【収穫】茎の長さが 25cm くらいになったら太さに関わらず、すべて地際部より切り取ります。最も収穫の多かった日と比べて、収量が 30% 程度まで低下した頃を目途に収穫を打ち切り、以後は翌年に向けて株の養成に移ります。

#### 4) 病虫害防除

被害が大きくなるのは茎葉が黄色くなる茎枯病です。風通しをよくし、発病株を見つけたら畑から持ち出します。秋に茎葉を刈り取り、畑から持ち出して焼却します。害虫では、アザミウマ類、ハダニ類、ヨトウムシ類などが発生しますので、初期に防除しましょう。